

多摩イノベーションエコシステム促進事業 ビジネスアイデア募集

説明会

1. ビジネスアイデア募集の説明

ビジネスアイデア募集の実施（概要）

- 多摩イノベーションコミュニティで実施したワークショップでは、様々な企業の方にご参加いただき、新たな事業連携やビジネス創出の可能性について意見交換が行われました。そこで、コミュニティ会員の皆様から、複数企業等で連携して取り組むビジネスアイデアを募集します。
- 応募頂いたすべてのビジネスアイデアに対して、専門家からフィードバックを行います！
特に優れたビジネスアイデアについては、事務局がアイデアの具体化に向けたハンズオン支援を行います（4件程度）
- ビジネスアイデアに基づく、次年度以降のビジネスの加速化（実証や社会実装など）にご活用頂くことができるため、是非ご応募ください！！

対象事業

応募資格

- 本コミュニティの会員（入会申込中含む）であること
- 代表者は中小企業（スタートアップ含む）であること 等
(連携事業者は中小企業に限らない)

要件

- 重点テーマのいずれかに該当すること
- 多摩地域における特徴を踏まえた新規性・独自性があること
- ビジネスや市場に将来性があり、多摩地域へのインパクトが期待できること
- 実現することのできる妥当な仮説に基づいていること
- 複数の企業等が連携して取り組む想定であること 等

<ビジネスアイデア例>

■ DX推進による医療のオンライン化 ■ AIを用いた技能人材の継承・拡大



全ビジネスアイデアへのフィードバック内容

- 複数の専門家により、応募頂いたすべてのビジネスアイデアに対する評価ポイントや改善点 等

優れたビジネスアイデアへの支援内容

計画策定支援等

- ビジネスアイデアのプロジェクト化に必要な連携先とのマッチング支援
- ワークショップ※1等と連携したプロジェクト構想のブラッシュアップ支援
- プロジェクト具現化計画の策定支援

※1 多摩イノベーションコミュニティにて、令和5年1月下旬、2月中旬に開催を予定している、「事業構想策定」をテーマとしたワークショップ

※支援期間は、令和5年1月下旬～令和5年3月まで

本年度実施のワークショップのテーマに基づき優れたビジネスアイデアの選定枠を設定します

優れたビジネスアイデアの選定枠

社会課題や多摩地域の特徴を踏まえ、本コミュニティにおいて設定している重点テーマ

環境・エネルギー	健康・医療	子ども・教育
環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要
安心・安全	観光・レジャー	物流・モビリティ
台風等による多摩川や秋川の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化	都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	E Cの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題
コミュニティ活性化	ビジネスモデル改革	人材確保・育成
空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化	高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要

選定枠	重点テーマ	備考
1枠	環境・エネルギー	令和4年10月ワークショップテーマ
1枠	物流・モビリティ	令和4年11月ワークショップテーマ
1枠	健康・医療	令和4年12月ワークショップテーマ
1枠	その他（子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成）	

募集要項「1 ビジネスアイデアの要件」

1. ビジネスアイデアの要件

募集するビジネスアイデアは、ビジネスアイデアチームによる取り組みであることを前提として、以下の要件をすべて満たすものとします。

- (1) 重点テーマのいずれかに該当するビジネスアイデアであること
- (2) 多摩地域における特徴を踏まえた新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- (3) ビジネスや市場に将来性があり、多摩地域へのインパクトが期待でき得るビジネスアイデアであること
- (4) 実現することのできる妥当な仮説に基づいたビジネスアイデアであること

※下記の「②ビジネスアイデアの検討フェーズ」（ビジネスアイデアの構想・企画や、それに伴う応用研究・開発を実施するフェーズ）のものを募集の対象とする。

＜一般的な製品・サービス開発の流れ＞



ビジネスアイデアの要件

(2) (3) **多摩地域**における特徴を踏まえたものであり、**多摩地域**へのインパクトが期待できること

(4) ②ビジネスアイデアの検討フェーズのものが対象となる

募集要項「2 応募資格」

2. 応募資格

以下の要件をすべて満たすものとします。←

- (1) 応募者及びビジネスアイデアチームは本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること←
- (2) 応募者は、中小企業※1（スタートアップを含む）とする←
- (3) 応募者及びビジネスアイデアチームは次の①～④のいずれにも該当すること←
 - ① 法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと←
 - ② 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと←
 - ③ 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成 23 年東京都条例第 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がないこと←
 - ④ その他、事務局が本プログラムを提供するにふさわしくないと判断する業務等を有さないこと←

コミュニティ会員

- 応募時点で、本コミュニティの会員もしくは入会申込中であることが要件



募集要項「3 支援内容」

3. 支援内容

応募があったうち、4件程度の優れたビジネスアイデアを選定し、事務局からビジネスアイデアの具体化に向けて、以下の計画策定支援等を行います。←

- ① ビジネスアイデアのプロジェクト化に必要な連携先とのマッチング支援←
- ② ワークショップ※1等と連携したプロジェクト構想のブラッシュアップ支援←
- ③ プロジェクト具現化計画の策定支援←

※1 多摩イノベーションコミュニティにて、令和5年1月下旬、2月中旬に開催を予定している、「事業構想策定」をテーマとしたワークショップ←

募集要項「4 支援期間」

4. 支援期間

令和5年1月下旬から令和5年3月まで←

募集要項「5 応募方法」

5. 応募方法

応募者は、下記応募書類を提出期限までに事務局（「9.問い合わせ先」記載のメールアドレス）まで送付してください。事務局より、受付完了メールを数営業日以内に返信しますので、ご確認ください。なお、応募者につき、応募は1件までとします。（提出期限 1/6（金）正午【必着】）
なお、メールに応募書類を添付できない場合は、ファイル共有ツールのダウンロード先リンクを事務局までお送りください。提出期限後の提出資料等の差し替えには応じられません。

No	資料名	記載事項
様式 1	エントリーシート	・応募事業者名、所在地、連絡先等を記載
様式 2	提案書	・「提案書フォーマット」を参照の上、プロジェクトの概要、新規性、市場性、ビジネスモデル仮説等を記載 ・パワーポイント形式、フォントサイズ12pt以上、A4横、6枚まで

＜応募から支援までのスケジュール等＞



応募方法

- 応募者が、提出期限までに応募書類を事務局へ送付
<応募書類>
様式1 エントリーシート
様式2 提案書
- 応募者およびビジネスアイデアチーム
当たり応募は1件まで
※連携事業者としてであれば、複数
案件での関与も可能

募集要項「6 審査・選定方法」

6. 審査・選定方法

(1) 審査の観点

- 以下の観点で審査を行う。
- ① 事業趣旨との合目的性
 - ② 新規性・独自性
 - ③ 市場性・成長性
 - ④ 実現可能性

(2) 審査方法

① 要件審査

提案が「1 ビジネスアイデアの要件」「2 応募資格」に合致しているか審査を実施する。
審査の過程で、事務局から応募内容に関して追加の説明や資料の提出を求めることがある。

② アイデア内容審査

①の審査を満たす提案に対して、審査員（外部有識者含む）による書面審査を実施する。

(3) 選定テーマ

4 件程度のビジネスアイデアを選定するが、本コミュニティで令和4年度に実施しているワークショップの内容を踏まえて、原則以下の選定枠を設ける。応募状況によって、選定枠を調整する可能性がある。

選定枠	重点テーマ	備考
1 枠	「環境・エネルギー」	令和4年10月ワークショップテーマ
1 枠	「物流・モビリティ」	令和4年11月ワークショップテーマ
1 枠	「健康・医療」	令和4年12月ワークショップテーマ
右記のうち 1 枠	「子ども・教育」、「安心・安全」、「観光・レジャー」、「コミュニティ活性化」、「ビジネスモデル改革」、「人材確保・育成」	

(4) 選定結果通知

1月中旬以降を目途に応募者全員に結果を通知する。

なお、選定過程は公表しない。また、審査結果についての異議申立ては受け付けない。

審査方法

- 審査員（外部有識者含む）による書面審査を実施（対面のプレゼン審査は実施しない）

選定テーマ

- 重点テーマによって選定枠を設け、4件程度のビジネスアイデアを選定
 - ✓ 「環境・エネルギー」
 - ✓ 「物流・モビリティ」
 - ✓ 「健康・医療」
 - ✓ その他6テーマのうち1枠

結果通知

令和5年1月中旬以降、応募者全員に結果を通知

募集要項「8 留意事項」

8. 留意事項

(1) 応募者は、応募時に入力するビジネスアイデアや個人情報については以下を承諾するものとする。←

✓ 応募時に入力する個人情報は、本事業の範囲内でのみ利用すること。←

✓ 応募様式の提出をもって、入力した個人情報が上記の利用目的の範囲内で、審査員（外部有識者含む）に提供されることに同意したものとみなされること。←

✓ ビジネスアイデア内容などについて、ノウハウや営業上の秘密事項、特許事項などについては、法的保護を行うなど応募者の責任で対応することとし、本コミュニティでの法的保護は行わない。←

(2) ビジネスアイデア選定後について

✓ 計画策定の際に発生した損害（計画策定に必要な事前トライアル等により発生した損害など。第三者に及ぼした損害を含む。）については、応募者及びビジネスアイデアチームがその費用を負担すること。←

✓ ビジネスアイデアの具体化に向けた計画策定支援において発生した知的財産権等は、応募者及びビジネスアイデアチームに帰属する。←

✓ 選定された応募者及びビジネスアイデアチームは、令和5年1月下旬・2月中旬に予定している事業構想策定をテーマとしたワークショップへの参加を原則とする。←

✓ 選定された応募者及びビジネスアイデアチームは、事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等に協力すること。←

選定後に必要なこと

- 令和5年1月下旬・2月中旬に予定している事業構想策定をテーマとしたワークショップへの参加
- 事務局が行う本事業のイベント・WEBサイト等での情報発信や各種調査等への協力

募集要項「10 定義」

10. 定義^④

本募集要項における用語の定義は、以下の通りとします。^④

本事業 ^④	令和4年度多摩イノベーションエコシステム促進事業 ^④									
事務局 ^④	本事業において、ビジネスアイデアの募集・選定、支援を行う者 ^④									
多摩地域 ^④	東京都のうち23区と島しょ部（伊豆諸島及び小笠原諸島）を除いた30市町村（26市3町1村） ^④									
本コミュニティ ^④	多摩イノベーションコミュニティ ^④									
ビジネスアイデア ^④	複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）が連携して取り組むビジネスアイデア ^④									
ビジネスアイデアチーム ^④	同じビジネスアイデアの実現に向けて連携を想定している複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）から構成されるグループ ^④									
重点テーマ ^④	多摩地域の社会的な課題や企業の特徴を捉え、イノベーション創出に向けて設定した、優先的に取り組むべき9つのテーマ ^④ (「多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針」より) ^④ <table border="1"><tr><td>環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要</td><td>健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展</td><td>子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要</td></tr><tr><td>安心・安全 台風等による多摩川や秩父の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化</td><td>観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要</td><td>物流・モビリティ E-Cの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者のへの対応が課題</td></tr><tr><td>コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域でのつながりが希薄化</td><td>ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要</td><td>人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要</td></tr></table>	環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要	安心・安全 台風等による多摩川や秩父の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ E-Cの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者のへの対応が課題	コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域でのつながりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要
環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要								
安心・安全 台風等による多摩川や秩父の溢水、土砂災害など、自然災害が激甚化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ E-Cの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者のへの対応が課題								
コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域でのつながりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要								
応募者 ^④	ビジネスアイデアチームの構成者のうち、主たる企業として応募・運営・管理を行う事業者のことであり、中小企業（スタートアップを含む）とする。 ^④									
ワークショップ ^④	本コミュニティにて開催しているテーマ別ワークショップ ^④ https://tama-innovation-ecosystem.jp/event/ ^④ ・令和4年10月24日（月） 重点テーマ「環境・エネルギー」 ^④ ・令和4年11月25日（金） 重点テーマ「物流・モビリティ」 ^④ ・令和4年12月15日（木） 重点テーマ「健康医療」 ^④ ・令和5年1月下旬、2月中旬 テーマ「事業構想策定」（開催予定） ^④									

ビジネスアイデア

- 複数の企業等が連携して取り組む想定であること

今後の流れ

応募方法・提出期限

- ◆ 応募方法：事務局のメールアドレス宛に、応募書類を送付してください。
- ◆ 提出期限：令和5年1月6日（金）12時00分（正午）まで【必着】

※ 本募集に関して、ご不明点等ございましたら個別での質疑対応やご説明も行いますので、事務局までご相談ください。

応募様式 「様式1 エントリーシート」

※黄色箇所にご記入ください

様式1

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集
- エントリーシート -

令和 年 月 日
(提出期限：令和5年1月6日(金)12時)

「多摩イノベーションエコシステム促進事業」事務局
有限責任監査法人トマツ 行

事業者名	○○		
氏名	○○		
事業者名	○○		
所在地	○○○○		
ホームページ	○○○○		
部署	○○部	電話	○○-○○○○-○○○○
担当者氏名	○○	メールアドレス	○○@xxxx

- 応募者の情報を記入
(黄色箇所)
- はんこレスの観点から押印は不要。ただし提出はビジネスアイデアチーム及び応募者での意思決定を踏まえたものである必要あり

応募様式 「様式1 エントリーシート」

当社は、応募者として、以下の応募資格の要件をすべて満たしていることを確認しました。

- (1) 当社及びビジネスアイデアチームは、本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- (2) 当社は中小企業*（スタートアップを含む）であること *中小企業の定義は募集要項参照
- (3) 当社及びビジネスアイデアチームは次の①～③のいずれにも該当すること
 - ①法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
 - ②公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
 - ③暴力団（東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用者その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がないこと

- 応募資格の要件をすべて満たしていることを確認（満たしていることを確認した項目について、□を☑に書き換える）

応募様式 「様式2 提案書フォーマット」

- フォーマットの項目に沿って作成頂く
(最大6枚)

3. 市場規模・比較優位性

審査の観点

③市場性・成長性

2. ビジネスマodel - イメージ図

審査の観点

新規性・独自性

2. ビジネスマodel

審査の観点

新規性・独自性

1. ビジネスマodelの概要

事業運営との合目的性
市場性・成長性（市場ニーズの有無）

重点テーマ

<9つの重点テーマから1つを選択して記載してください。>

要旨

<ビジネスマodelの要旨が一言で分かるような文言（タイトル）を記載してください。>

解決すべき
社会課題

<根拠となるデータ等を用いて、解決すべき社会課題の内容および多摩地域との関連を具体的に記載してください。
>

ビジネス
マodel

<上記社会課題を解決する策として、多摩地域の特徴を踏まえたビジネスマodelの内容を記載してください。
<ビジネスマodelを実現することによって何が変わるか、どのように社会課題が解決するかを記載してください。
<社会課題の解決以外にも効果が期待できることがあれば併せて記載してください。>

ビジネスマodel
チーム
およびその役割

<現時点で連携が想定されるプレイヤー※及びその連携状況を可能な限り記載してください。>

<プレイヤーごとの役割が明確になるよう記載してください。>

- 社：【応募者】
- 社：【連携調整済】
- 社：【連携調整中】
- 社：【連携先検討中】

※企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）を指す
(明確化していない場合は業種などでも可)

リューションと比較し
してください。（仮説）

をやイラストを用いて
ください。

© Deloitte Tohmatsu Group.

が分かるように

© Deloitte Tohmatsu Group.

提案書には、ビジネスアイデアの概要、ビジネスモデル、市場性、実現可能性等について貴台できる範囲でご記載ください

提案書の構成

記載できる範囲でご記載ください（現状記載できない箇所については空欄で構いません）

1. ビジネスアイデアの概要 <p>審査の観点 事業趣旨との合目的性 市場性・成長性（市場ニーズの有無）</p> <p>■ 著点テーマ ・<9つの著点テーマから1つを選択して記載してください。></p> <p>■ 原旨 ・<ビジネスアイデアの原旨が一言で分かるや文言（タイトル）を記載してください。></p> <p>■ 解決すべき社会課題 ・<根拠となるデータ等を用いて、解決すべき社会課題の内容および多摩地域との関連を具体的に記載してください。></p> <p>■ ビジネスアイデア ・<上記社会課題を解決する策として、多摩地域の特徴を踏まえたビジネスアイデアの内容を記載してください。> ・<ビジネスアイデアを実現するごとに何が変わるか、どのように社会課題が解決するかを記載してください。> ・<社会課題の解決以外にも効果が期待できることがあれば併せて記載してください。></p> <p>■ ビジネスアイデアチームおよびその役割 ・<現時点で達成が想定されるブレイヤー※及びその進捗状況を可能な限り記載してください。> ・<ブレイヤーごとの役割分担などをより記載してください。> ・ 社：【組織名】 ・ 社：【連携登録】 ・ 社：【連携調整中】 ・ 社：【連携先検討中】 ※企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）を指す（明確化していない場合は業種など也可）</p> <p>1 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>	2. ビジネスマル <p>審査の観点 新規性・独創性</p> <p>■ 多摩地域における特徴を踏まえた新規性・独創性について以下の項目を利用して記載してください。</p> <p>■ ターゲット層（誰に） ・<想定される顧客を記載してください。></p> <p>■ サービス内容（何を） ・<サービスの内容が具体的に分かるよう記載してください。></p> <p>■ 提供の仕掛け等（どのように） ・<どのような販売チャネルを想定しているか記載してください。> ・<ビジネスアイデアの各ブレイヤー毎に活用するリストが具体的に分かるよう記載してください。> ・<収入の流れが明確になるように記載してください。> ・<图表による補足は次頁に記載してください。></p> <p>■ 他企業との違い（どのように） ・<ビジネスアイデアの対象とする社会課題に対する既存のリソースと比較した新規性・独創性が分かるよう記載してください。></p> <p>2 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>	2. ビジネスマル - イメージ図 <p>審査の観点 新規性・独創性</p> <p>■ ビジネスマルの概要（全体像）を図やイラストを用いて記載してください。</p> <p>■ ビジネスマルの取組内容、およびビジネスアイデアチームの各社の間わり方が明確となるように記載してください。</p> <p>3 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>														
3. 市場規模・比較優位性 <p>審査の観点 ③市場性・成長性</p> <p>■ 市場規模 ・<ビジネスアイデアの想定する市場の有無や、その市場でインバウトを期待出来る根拠について記載してください。（仮説でも問題ありません。）></p> <p>■ 比較優位性 ・<P1に記載の社会課題に対して、既存のソリューションと比較して優位性が獲得出来る根拠について記載してください。（仮説でも問題ありません。）></p> <p>■ 任意 ・<上記の内容を裏付けるデータ等があれば、図表やイラストを用いて記載してください。> ※この枠に入りきらない場合はP6に記載してください。</p> <p>4 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>	4. ビジネスマルの実現可能性 <p>審査の観点 ④実現可能性</p> <p>■ ビジネスマルの実現可能性 ・<ビジネスアイデアの実現を阻害する要因（業界動向や社会背景、法規制、実証先候補など）やリスクへの対応についての仮説について記載してください。></p> <p>■ 技術上の実現可能性 ・<応用研究・開発（P7参照）の進捗状況を記載してください> ※図表・イラストを用いる場合は、P6に記載してください。</p> <p>※③ビジネスアイデアの検証フェーズ（P7参照）に進むための現時点の応用研究開発上の課題が残っている場合は、以下に可能な範囲で記載してください。</p> <table border="1"><tr><td>応用研究・開発完了見込み時期</td><td>[年 月頃]</td></tr><tr><td>完了までの課題・タスク</td><td>対応方針</td><td>完了見込</td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> <p>5 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>	応用研究・開発完了見込み時期	[年 月頃]	完了までの課題・タスク	対応方針	完了見込										5. その他（参考資料） <p>■ 前ページまでに記載した内容を補足するデータ、図表等があれば記載してください。</p> <p>■ 任意</p> <p>6 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.</p>
応用研究・開発完了見込み時期	[年 月頃]															
完了までの課題・タスク	対応方針	完了見込														

応募様式 「様式2 提案書記載例」(1/6)

		作成例	審査の観点	①事業趣旨との合目的性
1. ビジネスアイデアの概要				
重点テーマ	安心・安全			
要旨	防犯用自動販売機ソリューション			
解決すべき 社会課題	<ul style="list-style-type: none">多摩地域は、平成29年に刑法犯認知件数は6,633件となり、6年ぶりに都内ワーストに転落。防犯カメラが設置されている地域は比較的犯罪が少ないことが判明している。多摩地域では、公共施設が少ないとことなどから、防犯カメラが設置されていない空白地域が多く、犯罪発生件数が多いと考えられている。			<ul style="list-style-type: none">ビジネスアイデアの対象とする社会課題についてデータ等を用いて記載
ビジネス アイデア	<ul style="list-style-type: none">多摩地域発の企業であるスタートアップ・電子機器メーカーと、大手飲料関連メーカーの連携により、防犯用自動販売機ソリューションを構築し、多摩地域に多数ある自動販売機に適用することで、当エリアの犯罪の減少につなげる。設置済の自動販売機の商品棚にカメラを取り付けることで、防犯用カメラとして作動。夜間もわずかな光があれば被写体を捉えることが可能で、AI画像認識技術を活用して事故や犯罪の予兆をリアルタイムに検知・通報する。さらに多摩地域デベロッパーとも連携したソリューションを構築することで、多摩地域に根付いたソリューションへと繋げるまた、With/Postコロナ時代への対応として、AI画像認識技術を活用した非接触型の顔認証決済への展開も可能。様々なプレイヤーと連携することで、防犯カメラ設置箇所を広範に確保できる。また、地域課題への取組を多摩地域内外に情報発信することも可能。		<ul style="list-style-type: none">対象とする社会課題に対するビジネスアイデアを記載	
ビジネスアイデアチーム およびその役割	<ul style="list-style-type: none">スタートアップC社：ディープラーニング技術を使用したAI画像認識技術の開発 【応募者】電子機器メーカーA社：防犯カメラの開発、販売、保守・運用 【連携調整済】飲料関連メーカーB社：自動販売機での飲料販売 【連携調整中】多摩地域のデベロッパー：実証フィールドの提供（新たな自販機設置及び既存自販機の活用）【連携先検討中】			<ul style="list-style-type: none">ビジネスアイデアを実現するためのチーム構成と役割について記載 (応募時点での調整状況も記載)連携の調整が応募時点でできていなくても問題なし

※あくまで公開情報などから作成した例であり、イメージとなります。

応募様式 「様式2 提案書記載例」(2/6)

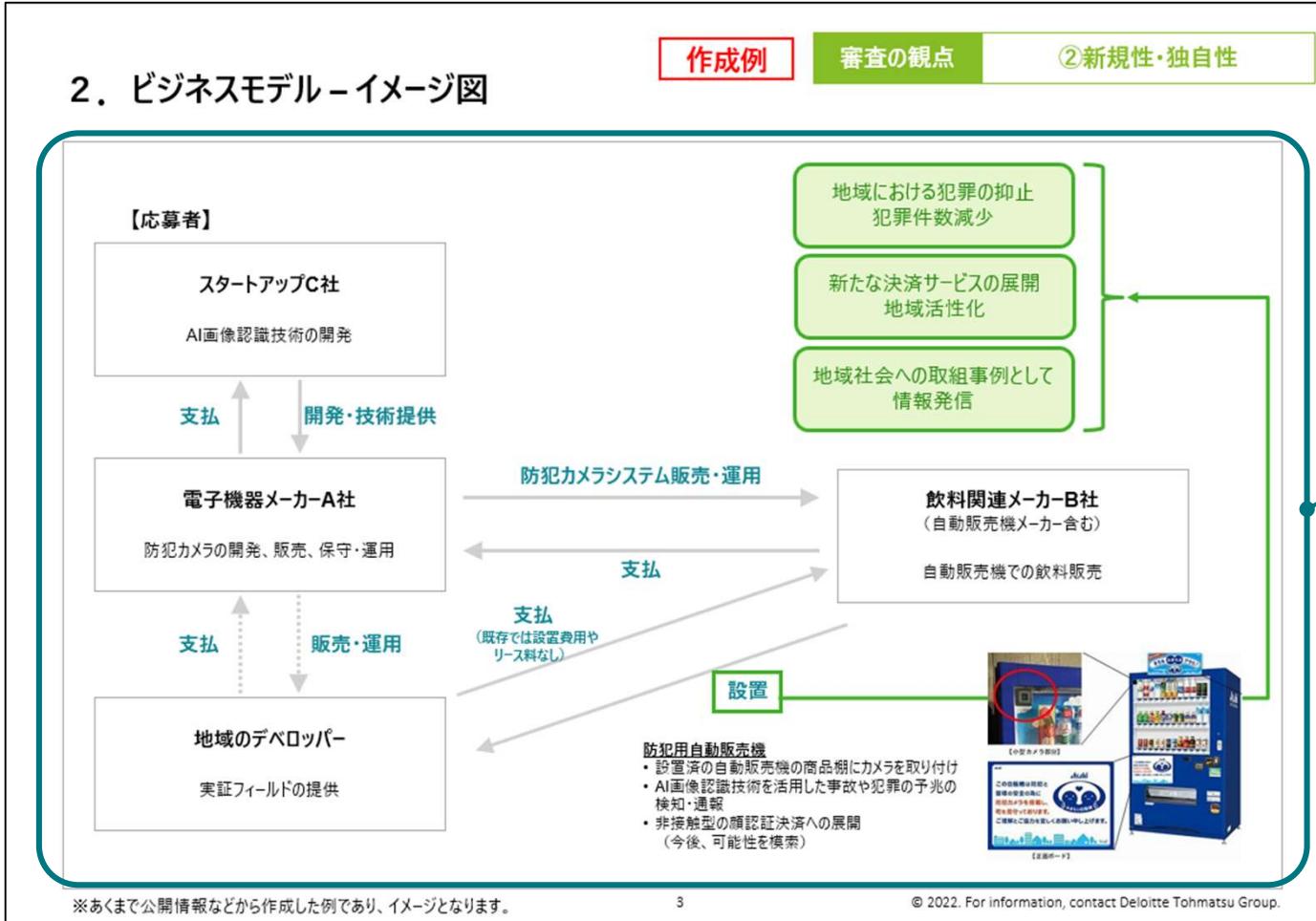
		作成例	審査の観点	②新規性・独自性
2. ビジネスマodel				
ターゲット層 (誰に)	<ul style="list-style-type: none">・民間企業 自動販売機を設置する飲料メーカーやデベロッパーに防犯カメラを販売。・国、自治体等 道路や街中での防犯カメラシステムとして販売。			
サービス内容 (何を)	<ul style="list-style-type: none">・自動販売機に防犯カメラを設置（地域課題の解決） 防犯カメラの空白地域に自動販売機でタッチポイントを提供、近隣住民への安全・安心感の提供。・withコロナ時代の対応（可能性を模索） 顔認証決済により、外出自粛や接触低減が進む中で売上の確保、現金回収/補充、メンテナンス作業の削減。			
提供の仕掛け等 (どのように)	<ul style="list-style-type: none">・<u>チャネル</u>：自動販売機（様々なプレイヤーとの連携を情報発信することで認知度を向上）・<u>リソース</u>：区内に設置されている既存自動販売機や土地（顧客、飲料関連メーカーB社） 通信機器から映像を自動保管するクラウドサービス（電機メーカーA社、スタートアップC社） 飲料の配送やシステムメンテナンスの人員（電機メーカーA社、飲料関連メーカーB社） 実験フィールドの提供（多摩地域デベロッパー）・<u>収入の流れ</u>：次頁参照。			
他企業との違い (どのように)	<ul style="list-style-type: none">・3社の保有する独自の先端技術の融合によるサービス提供<ul style="list-style-type: none">✓ 多摩地域発のスタートアップC社が開発するディープラーニング技術を使用した世界最先端のAI画像認識技術✓ 多摩地域発の電子機器メーカーA社の開発する世界最先端の高解像度・高フレームレートの超小型カメラ技術✓ 飲料関連メーカーB社の保有する国内最大規模のIoTを活用した自動販売機ネットワーク (事故や犯罪の予兆の検知・通報、非接触型の顔認証決済への展開(可能性を模索))			

※あくまで公開情報などから作成した例であり、イメージとなります。

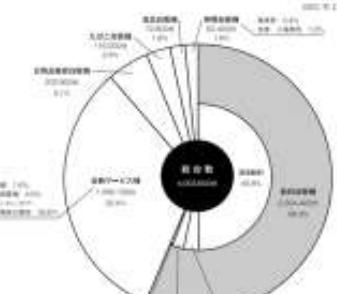
2 © 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

•「誰に」「何を」「どのように」提供するかについて、新規性・独自性のポイントを踏まえて記載

応募様式 「様式2 提案書記載例」(3/6)



応募様式 「様式2 提案書記載例」(4/6)

作成例	審査の観点	③市場性・成長性																				
<h3>3. 市場規模・比較優位性</h3> <p>市場規模</p> <ul style="list-style-type: none">自動販売機の普及台数は全国で約4百万台(2021年3月)、人口比から考えると多摩地域にも数十万台程あると想定。他自治体の事例より防犯カメラの設置による犯罪抑止効果は明確に期待される。(愛知県刈谷市5年間で46%減少。)防犯・監視カメラは技術革新により多様な機能が今後も期待される。(2026年で2022年比約2倍の市場拡大予測あり) <p>比較優位性</p> <ul style="list-style-type: none">ビジネスアイデアで想定している電子機器メーカーA社、スタートアップC社の連携による防犯カメラを、高い市場シェアを持つ飲料メーカーB社の自動販売機に適用していくと仮定した場合、他社との比較において、解像度/フレームレート、画像認識/予兆検知/自動通報、自動販売機におけるシェアの点から高い優位性を有する。		<ul style="list-style-type: none">記載例は既存のビジネスをベースに作成しているため、比較的詳細な記載となっておりますが、あくまでビジネスアイデア募集のため、現時点で可能な範囲の仮説を簡潔にご記載いただければ問題なし																				
<ul style="list-style-type: none">全国での自動販売機の普及台数  <p>出所：日本自動販売システム振興工業会「普及台数 2021年3月版」</p> <ul style="list-style-type: none">防犯カメラによる販売抑止効果、防犯監視カメラ市場に関してはP6記載	<ul style="list-style-type: none">ネットワークカメラメーカー3社との比較 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>解像度 フレームレート</th><th>画像認識/予兆検知 自動通報</th><th>シェア</th></tr></thead><tbody><tr><td>電子機器メーカーA社 スタートアップC社 (飲料メーカーB社協業)</td><td>400万画素 40~60fps</td><td>○ ○ ○</td><td>40%</td></tr><tr><td>【競合①】 電子機器メーカーE社 (飲料メーカーF社協業)</td><td>300万画素 30~40fps</td><td>○ * *</td><td>20%</td></tr><tr><td>【競合②】 電子機器メーカーG社 (飲料メーカーH社協業)</td><td>200万画素 30~40fps</td><td>○ * *</td><td>15%</td></tr><tr><td>【競合③】 電子機器メーカーI社 (飲料メーカーJ社協業)</td><td>200万画素 30~40fps</td><td>○ * *</td><td>10%</td></tr></tbody></table>		解像度 フレームレート	画像認識/予兆検知 自動通報	シェア	電子機器メーカーA社 スタートアップC社 (飲料メーカーB社協業)	400万画素 40~60fps	○ ○ ○	40%	【競合①】 電子機器メーカーE社 (飲料メーカーF社協業)	300万画素 30~40fps	○ * *	20%	【競合②】 電子機器メーカーG社 (飲料メーカーH社協業)	200万画素 30~40fps	○ * *	15%	【競合③】 電子機器メーカーI社 (飲料メーカーJ社協業)	200万画素 30~40fps	○ * *	10%	<ul style="list-style-type: none">上枠記載の仮説を裏付けるデータの掲載欄です。 枠に収まらない場合はp.6以降に掲載
	解像度 フレームレート	画像認識/予兆検知 自動通報	シェア																			
電子機器メーカーA社 スタートアップC社 (飲料メーカーB社協業)	400万画素 40~60fps	○ ○ ○	40%																			
【競合①】 電子機器メーカーE社 (飲料メーカーF社協業)	300万画素 30~40fps	○ * *	20%																			
【競合②】 電子機器メーカーG社 (飲料メーカーH社協業)	200万画素 30~40fps	○ * *	15%																			
【競合③】 電子機器メーカーI社 (飲料メーカーJ社協業)	200万画素 30~40fps	○ * *	10%																			

※あくまで公開情報などから作成した例であり、イメージとなります。

応募様式 「様式2 提案書記載例」(5/6)

4. ビジネスアイデアの実現可能性
作成例
審査の観点
④実現可能性

ビジネス上の実現可能性

■個人情報保護法による阻害要因に対する仮説

- 防犯カメラを設置のため、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）によりデータの保存等に関する扱いに関する制限があり、画像認識精度への影響が懸念されるが、研究開発におけるデータによれば、当制限の中でも精度を維持できることを確認済み

■実証フィールド発掘に関するリスクに対する仮説

- 本ビジネスアイデアを展開していくためには、地域のデベロッパとの連携・実証が必須であるが、連携調整済みの電子機器メーカーA社が、既存サービスの関連で、自治体やデベロッパとのネットワークを多く保有しており、本ビジネスアイデアの実証先を調整することは可能と想定している。

■……

※あくまで公開情報などから作成した例であり、イメージとなります。

技術上の実現可能性

- 本ビジネスアイデアの実現に必要とされる画像認識精度については、カメラの画像品質・AI画像認識技術の観点から達成している
- 本ビジネスアイデアの実証を進めるにあたってのプロトタイプの開発に向か、超小型カメラの開発や、リアルタイム画像認識・セキュア通信環境確保に関する開発が残っている状況である

※③ビジネスアイデアの検証フェーズ（P7参照）に進むための現時点の応用研究開発上の課題が残っている場合は、以下に可能な範囲で記載下さい。

応用研究・開発 完了見込み時期	[2023年6月頃]	
完了までの 課題・タスク	対応方針	完了見込
自動販売機に設置できる超小型カメラの開発	電子機器メーカーおよび飲料メーカーの連携した設計・製造および動作テスト	2023年3月
リアルタイムAI画像認識の実現	仕様策定および疑似環境を活用したカスタマイズ開発	2023年4月
セキュアな通信環境の確保	大手セキュリティベンダーの○○製品を活用した通信ネットワーク環境とc社クラウド型AI画像認識システムの統合及び動作テスト	2023年6月

© 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

• 記載例は既存のビジネスをベースに作成しているため、比較的詳細な記載となっていますが、あくまでビジネスアイデア募集のため、現時点で可能な範囲阻害要因やリスクへの対応についての仮説を簡潔にご記載いただければ問題なし

• 下記に示す③ビジネスアイデアの検証フェーズに進むための、技術開発上の課題がある場合は、現状の状況および、課題・タスクの対応方針、完了見込みについて記載

• ③に進むための技術開発上の課題がない場合はその旨を記載

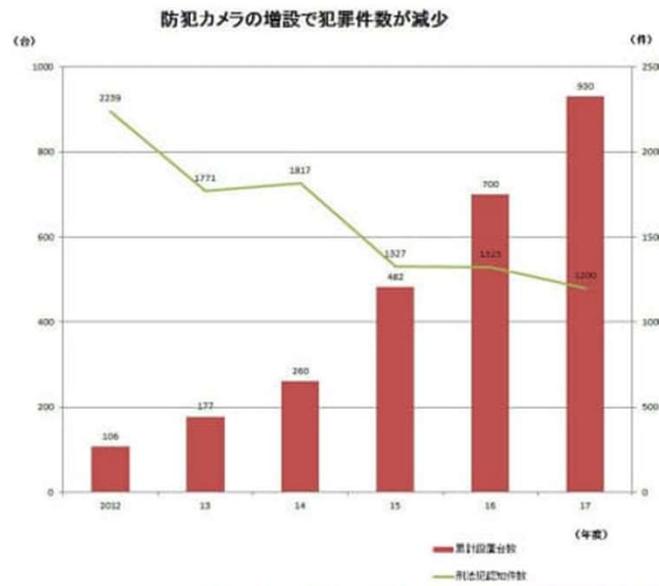


応募様式 「様式2 提案書記載例」(6/6)

作成例

5. その他（参考資料）

- 防犯カメラの累計設置台数と、刑法犯認知件数の推移
(他自治体の例)



出所：日経クロステック (<https://www.nikkei.com/article/DGXMO27492010Y8A220C1000000/>)

※あくまで公開情報などから作成した例であり、イメージとなります。

- 監視カメラ世界市場予測



出所：日本防犯設備協会「画像解析に関する調査研究報告書 2019年4月」

6

© 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

- P1～P5までに記載している内容を補足するデータ等があれば本ページに記載
- 該当するページの本ページに補足情報を記載している点について、注釈を入れてください

2. 質疑応答

Q&A

No.	ご質問	回答
1	事務局から <u>提案書の書き方支援等</u> の実施予定はあるか。	事務局宛に個別にご連絡をいただければ、 <u>提案書作成に必要なポイント等について一般的なコメント・アドバイスをさせていただくことは可能です。</u>
2	<p>提出するビジネスアイデアは、 以下①、②いずれのアイデアが求められているか。</p> <p>① <u>実現可能性のハードルが比較的高いもの</u> (広く多摩地域のエコシステムを構成するプレイヤーを巻き込み社会的インパクトを創出するような大規模なもの、資金的なハードルが高いもの等)</p> <p>② <u>実現可能性のハードルがある程度見えているもの</u> (要素技術の実証等に向けた中小規模なもの等)</p>	<p>いずれのビジネスアイデアでもご提出いただけます。 それぞれのビジネスアイデアに対して専門家の視点からコメントをいただくことができます。</p> <p>ただし、優れたビジネスアイデアとして選定されるものにつきましては、2023年1月下旬から3月までの間のご支援を通して、プロジェクト実行計画への落とし込みができる想定しております。そのため、<u>②、もしくは①の第一歩としてのアイデアという形で応募いただき、①の場合は長期的な展望についても提案書に併せてご記載いただくような形が望ましいです。</u></p>